

『夢と笑顔のあふれる町づくり』を目指して

升谷町政 2 期目のスタート

1月25日（日）に行われた西ノ島町長選挙は、無投票により、升谷町長が再選を果たしました。

2月9日（月）には、西ノ島町役場本庁舎へ初登庁し、升谷町政の2期目が本格的にスタートしました。

本年は、地方創生や人口減少対策が本格スタートするなど、地方にとって変動の年となります。

このような中、升谷町長は、2期目の町づくりに着手していきますが、どのような町づくりを展開していくのでしょうか。升谷町長に目標や抱負を伺いました。

升谷町長が語る 2 期目の町づくりとは

私は、1月25日に執行されました、西ノ島町長選挙におきまして、町民皆様のご支援をいただき、再選させていただきました。

住民の皆さまが満足感の持てる町づくりをさらに推し進めるために、再度、町政を担うことになり、1期目以上にその責任の重さを実感し、改めて身が引き締まる思いがするとともに、決意を新たにしているところでございます。

現在、全国では地方創生・人口減少問題等が大きな課題となっており、本町でも産業振興・少子化対策・定住対策等の様々な課題を抱えています。

地方創生・人口減少問題には、「雇用の場の創出につながる産業の振興」「安心して産み育てることのできる子育て支援・少子化対策」を最優先に考えておりますが、「福祉・医療・教育の充実」も人口減少対策には欠かせない重要な要素だと思っております。

これらの実行に当たってもスピード感を持って取り組んでまいります。

そのため、引き続き『地域産業の活性化』『保健・医療・福祉の充実』その財源の裏付けとなる『計画的な財政運営』の3点を最重要課題として町政を進めてまいります。

①地域産業の活性化

町の基幹産業である漁業・畜産・観光の振興に加えて、雇用の場を増やすことが、極めて重要だと考えております。

恵まれた自然環境や農林水産物などの地域資源を最大限に活かした特産品の開発、ブランド化等に取り組むとともに、地産地消の推進や起業支援、担い手育成など、地場産業の振興による地域経済の活性化を図ってまいります。

②保健・医療・福祉の充実

離島に住む我々にとって、安心して暮らしていくためには、医療の充実は最も重要な要素です。幸いにも本町には、島前の中核病院である隠岐島前病院があります。これまで、リハビリ施設の拡充を行い、CT機器の更新、患者の情報を共有する「まめネット」への参加など医療の充実に努めてまいりました。今後も医療従事者等の確保につとめるとともに、更なる医療設備の充実を図り、信頼される医療体制づくりを進めてまいります。

また、現在、新たな子育て支援計画、地域福祉計画等について、検討しております。町民の皆さんの意見を参考にしながら福祉等の更なる充実に努めてまいります。

③計画的な財政運営

町政は、財政の裏付けがあって初めて様々な取り組みができ、限られた財源をいかに有効活用するかが、大切だと考えております。

本町の財政状況は、近年、大幅に改善しておりますが、今後、人口減少による交付税の減額や大型公共事業の実施に伴う借金返済額の増大など予想されます。

こうした不安要素があるものの、深刻化する人口減少問題に取り組むためには、地域振興と財政健全化のバランスを図りながら、事業の取捨選択を行うなど、メリハリのある財政運営に努めてまいります。

副町長には濱田明博氏が就任

2月18日付で濱田明博副町長が再任しました。任期は就任の日から4年間となります。

2月12日に開催された西ノ島町議会臨時会において、選任同意いただき、再び副町長の重責を担わせていただくことになり、真に光栄でありますと同時に、改めて責任の重さに身の引き締まる思いがしているところでございます。

第2期目を迎えます升谷町政の補佐役として、地方創生・人口減少問題など課題が山積する中で、町長が進める町民の皆様との対話を大切にし、「夢と笑顔のあふれるまちづくり」の実現に向けて、微力ではございますが、誠心誠意努めさせていただきます。

どうか、町民の皆様には今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



副町長
濱田 明博